

| | | | | | |
|--|---|-----|--------------|----|-------|
| <input type="checkbox"/> 出張報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 会議議事録 | | 番号 | DB13-202 | | |
| | | 作成日 | 2013/12/10 | | |
| 件名 | 2013年11月度研究部部内会議議事録 | | 部課名 | 認可 | 審査 |
| | | | 研究部 | 上森 | 佐藤 |
| 日時 | 2013/12/9(月) 9:00-10:45 | 場所 | F C ・ 研究部会議室 | | |
| 出席者 | 八木常務、高橋技師長、上森部長、久田技術主幹、孫崎G長、内田G長、西田M、久野ラボ長、高祖M、佐藤 (記) | | | | |
| 議題、議事の趣旨、結論 (決定事項・要処置事項) 等 | | | | | 担当、期限 |
| 1. 共通 (1) 災害発生件数が3年間、高い数字で横ばい状態にあります。 『プロらしくない不注意』等、基本動作を欠くことにより災害が発生すケースが多くなっています。 年末を控え、十分に注意をお願いします。 | | | | | 各G長 |
| 2. 研究開発状況 2. 1基盤技術連携グループ (1)Northfinder 指示事項特になし。 | | | | | 孫崎G長 |
| (2)JAXA向け開発 ・観測ロケットへの搭載に際しては、故障が生じて他の機器に影響を与えないように調整を行うこと。 | | | | | |
| 2. 2新材料実用化グループ (1)ALM調査 ・15-5PHの原料粉末の影響は十分に確認を行うこと。 | | | | | 西田M |
| (2)HTCC ・管体へのフィン ロウ付け試験に関しては、製造工程が複雑な方向に進みつつある様に思えるが、コストアップにならないように配慮して検討を行うこと。 | | | | | 佐藤 |
| (3)潜水艦プロペラ ・MHI 予算による発注試験は、来年度の技本発注作業とダブらないように、また技本で検討中のMHI 長崎での水流試験で意義のある試験が出来るように、MHI と調整していくこと。 | | | | | |
| (4)JAXAとの共同研究 ・概算検討でも構わないので、早急にコスト評価を進めること。 | | | | | |
| 2. 3材料・プロセスリサーチラボ (1)研究業務進捗 ・膜厚計の薄膜の測定精度を向上したプローブについては、その改善効果を正確に評価しておくこと。 ・マイクロクラックの封孔処理剤で更に新しい物を評価しているが、最終評価中の紫外線硬化との位置づけ明確にして、方針を定めて評価を行うこと。 | | | | | 久野G長 |
| (2)他部門関連業務 指示事項特になし。 | | | | | |
| (3)分析定例業務 指示事項特になし。 | | | | | |
| 2. 4知財・技術管理グループ 指示事項特になし。 | | | | | |
| ※次回11月度部内会議の担当は孫先G長 | | | | | |

配布先

各出席者 1

CONFIDENTIAL

本資料の内容に関わる全権利は、住友精密工業株式会社(SPP)に帰属するものであり、書面による SPP の承諾なしで、配布の目的以外に本資料を流用・複製・第三者へ提示することを禁じます。



 SUMITOMO PRECISION

| | | |
|--|-------|--------------------|
| | 関連文書類 | 2013年12月度研究部部内会議資料 |
|--|-------|--------------------|

CONFIDENTIAL

本資料の内容に関わる全権利は、住友精密工業株式会社(SPP)に帰属するものであり、書面による SPP の承諾なしで、配布の目的以外に本資料を流用・複製・第三者へ提示することを禁じます。

